

2016年12月27日

派遣留学生の皆様
海外渡航中の学生の皆様

フランス留学中の大学生が行方不明になるという報道がありました。コロンビアでも先月大学生が強盗に襲われ亡くなるという事件がありました。

海外では日本と違った危険が待ち構えており、常に事件・事故と隣り合わせの環境にいると言っても過言ではありません。実際に、日本人が海外で予想もしない事件・事故に巻き込まれるケースが増えています。留学生の皆様には、今一度危険を回避する「知識」と「意識」を持って、安全対策を講じるようお願いします。

旅行を計画する場合は、必ず南山大学が契約している日本エマージェンシーアシスタンス株式会社 OSSMA 事務局の Web ページに旅程登録を行うと同時に、南山大学国際教育センター事務室へ「休暇中住所連絡票」を提出してください。

安全対策の参考として、外務省が発行している「～海外旅行のトラブル回避マニュアル～海外安全 虎の巻」のリンクを紹介します。次の内容が詳しく書かれていますので、必ずこのマニュアルをご一読ください。

http://www.anzen.mofa.go.jp/pamph/pdf/tora_2017.pdf

また、本学の出発前オリエンテーションで配布された、危機管理に関する資料もあわせて再読ください。

- ・渡航先の十分な知識をもつこと。

現地の治安状況、犯罪の傾向、法律、習慣をあらためて情報収集してください。そのため必ず日本国外務省の海外安全ホームページを参照してください。また、外務省海外旅行登録「たびレジ」に登録していない場合は、すぐに登録してください。

- ・危険な場所には近づかないこと。

内乱、クーデター、テロなど大きな事件でなくとも、強盗などの犯罪が多発する場所があります。危険と思われる場所には不用意に近づかない、夜間の外出や一人歩きを避けるという用心が大切です。

- ・多額の現金・貴重品を持ち歩かない。

海外では、「日本人は裕福で多額の現金や貴重品を持っている。」というイメージから、ターゲットになるケースがあります。外出する際は、現金、貴重品、パスポートの原本そのもの（常時携帯を義務付けられている国を除く）をできるだけ持ち歩かないようにしましょう。

- ・犯罪にあったら抵抗しない。

海外では犯罪者は凶器を所持し、グループで犯行に及ぶことが多くあります。犯人の要求に抵抗したりすると、犯人を苛立たせ、凶器による暴行等につながる可能性が高くなります。万が一犯罪にあったら、生命の安全を第一に考え、犯人の要求に抵抗しない態度を示すことが必要です。

- ・見知らぬ人を安易に信用しない。

少しでも怪しいと感じたら、ためらわず「ノー」と断り、その場を立ち去ること、特にその人の家に行ったり、すすめられた物を飲んだり食べたりすることは控えましょう。

最後に、留学に支障をきたすようなトラブルや困ったことがある場合は、すぐに国際教育センター事務室へご相談ください。

以上

南山大学国際教育センター長